

第32回福井市ジュニア大使帰国報告書

32nd Fukui Junior Ambassadors Report



派遣日程

2026/3/21 (土) -
2026/3/28(土)

派遣都市

アメリカ ニュージャージー州 ニューブランズウィック市

派遣テーマ

Building Bridges ～10人の絆 Forever～

も く じ

- | | | | |
|----|-----------------|-------|-------|
| 1. | ジュニア大使選考から派遣まで | | P. 2 |
| 2. | ジュニア大使・引率者名簿 | | P. 5 |
| 3. | 派遣日程 | | P. 6 |
| 4. | ジュニア大使 報告書 | | P. 13 |
| 5. | 未来のジュニア大使へメッセージ | | P. 24 |

1. ジュニア大使選考から派遣まで

○ 募集期間

令和7年11月17日（月）～12月3日（水）

○ 第1次選考会（作文）

日時：令和7年12月13日（土）10:00～11:30

会場：フェニックス・プラザ 地下 大会議室

参加者：34名

参加校：12校

内容：作文テーマ「日々の生活や身の周りで感じる外国について」



○ 第1次選考委員会

日時：令和7年12月23日（火）14:00～16:00

会場：ふくい市民国際交流協会 会議室

選考委員：福井市商工労働部 観光文化スポーツ局観光振興課国際室 室長 今村 知美

ふくい市民国際交流協会 副会長 永岡 弥栄子

ふくい市民国際交流協会 副会長 山崎 栄一

ふくい市民国際交流協会 姉妹友好都市交流委員長 飛田 幸平

内容：応募者34名から21名を選抜した。

○ 第2次選考会（面接）および選考委員会

※第1次選考委員の4名に加えてふくい市民国際交流協会 会長 辻橋 清和も参加

日時：令和8年1月10日（土）10:00～11:35

会場：フェニックス・プラザ 404号室

参加者：21名

参加校：12校

内容：面接（5人または6人1組）

応募者21名から10名を選抜した。



○ **任命式**

日時：令和8年1月24日（土）9：00～9：30

会場：フェニックス・プラザ 多目的ルーム

○ **第1回研修会**

日時：令和8年1月24日（土）10：00～12：00

会場：フェニックス・プラザ 多目的ルーム

- ・自己紹介
- ・「福井市の紹介」担当決め



任命式



集合写真



第1回研修会

○ **第2回研修会**

日時：令和8年2月7日（土）9：00～12：30

会場：フェニックス・プラザ 401号室

- ・ニューブランズウィック市について調べたことを発表
- ・スピーチ担当決め
- ・「福井市の紹介」スライド作成
- ・パフォーマンス決め、練習



○ **第3回研修会**

日時：令和8年2月21日（土）9：00～12：30

会場：フェニックス・プラザ 401号室

- ・ムース ムクタル氏によるアメリカ、ニューブランズウィック市の紹介
- ・帰国報告会 担当者決め
- ・「福井市の紹介」スライド作成、英語添削
- ・派遣テーマ決め
- ・パフォーマンス練習



○ **壮行式**

日時：令和8年3月14日（土）9：00～9：30

会場：フェニックス・プラザ 地下大会議室



○ **第4回研修会**

日時：令和8年3月14日（土）10：00～12：30

会場：フェニックス・プラザ 地下大会議室

- ・ジュニア大使 OB との意見交換会
- ・ムース ムクタル氏によるミニ英会話講座
- ・プレゼン、パフォーマンス練習



ジュニア大使 OB と



英会話講座



プレゼン練習

○ **派遣**

令和8年3月21日（土）～28日（土） 6泊8日

○ **帰国後研修会**

日時：令和8年4月3日（金）13：00～16：00

会場：ふくい市民国際交流協会 会議室



○ **帰国報告会**

日時：令和8年4月15日（水）16：30～17：30

会場：福井市役所 8階 会議室



2. ジュニア大使・引率者名簿

第32回福井市ジュニア大使

中学校名	名前
光陽中学校	おおくら りお 大 藏 里桜
高志中学校	きたお ちなつ 北尾 千夏
足羽第一中学校	しみず 清水 みそら
福井大学附属義務教育学校	しみず ゆうすけ 清水 雄介
福井大学附属義務教育学校	なかじま あい 中島 愛衣
清水中学校	ながの えみり 永野 恵珠里
足羽中学校	まえだ ゆう 前田 優空
明倫中学校	むこやま ひな 向山 陽菜
福井大学附属義務教育学校	むらた あきひろ 村田 彰大
藤島中学校	よしかわ まさや 吉川 聖勇

引率者

福井市立森田中学校 教諭	たけざわ さき 竹澤 沙貴
福井市商工労働部観光文化スポーツ局 観光振興課 国際室	たけうち ゆうき 竹内 祐貴
(公社) ふくい市民国際交流協会	やはら 八原 あかね

3. 派遣日程

3月21日(土)

時刻	行程
5:00	福井駅東口集合 出発式後、小松空港へ
6:00	小松空港着、搭乗手続き
7:35	国内線にて羽田空港へ (NH752 便)
8:45	羽田空港着、国際線へ
11:35	国際線にて JFK 空港へ (NH110 便)
— 日付変更線 —	
11:30	JFK 空港着、入国手続き
13:00	ニューヨーク市内観光 ・自由の女神 ・MoMA (ニューヨーク近代美術館) ・タイムズスクエア
18:00	【Hard Rock Café】にて夕食
20:00	ニューブランズウィック市内へ、【Hyatt Regency Hotel】着



出発式



いざ NY へ!



自由の女神像の前で



MoMA



タイムズスクエア



Hard Rock Café にて夕食

見どころが多すぎて、時間が全然足りませんでした。だけどアメリカを感じる良い時間でした (前田)

3月22日(日)

時刻	行程
9:00	ホテルにて朝食
10:30	ロビーにてプレゼンテーション&パフォーマンス練習
12:00	ホストファミリーと合流 午後はホストファミリーと過ごす



朝食



プレゼン練習



ホストファミリーと合流



ホストファミリーと一緒に



受け入れの挨拶



集合写真

緊張していたけど優しく迎えてもらって、楽しみが増えました。(向山)

ホストファミリーとは…



ラーメンを食べに



日本食ふるまい！



お家でカラオケ♪

緊張なんてすぐ吹き飛んで、毎日全力で楽しめました！(清水雄)

3月23日(月)

時刻	行程
9:00	ニューブランズウィックミドルスクール ・英語（そら豆の発芽について） ・技術（3Dプリンターでキーチェーン作り）
10:45	図書室にてランチ
11:30	・美術（ブラシペイント） ・数学（カードゲーム Game24） ・体育（バレーボール）
15:00前	ホストファミリー宅へ



ニューブランズウィックミドルスクール



学校に入るとウェルカムメッセージが♡



ジュニア大使一人ひとりにバディ



そら豆の発芽実験



3Dプリンターでキーチェーン作り



図書室でバディとランチ♪



ブラシペイント体験



Game24



バレーボール

学校生活は、日本と違うことが本当に多くて、驚きの連続でした！（永野）

3月24日(火)

時刻	行程
9:00	ニューブランズウィックミドルスクール
9:30	ミドルスクール出発
10:00	ウィローグローブ墓地(日下部太郎墓地)にてお墓参り
11:00	City Hallにて市長表敬
12:00	NBPAC(New Brunswick Performing Art Center)にて昼食
13:00	Alexander Libraryにて日下部太郎にまつわる講義
14:30	ミドルスクールへ戻る
15:00	ホストファミリー宅へ



スクールバスで出発!



ウィローグローブ墓地



市長表敬



市長ありがとう!!



昼食はPIZZA♪



Alexander Libraryにて講義

市長表敬では、市長の前で英語でスピーチをする事ができ、とても良い経験になりました。
また、日下部太郎の思いについても考えることができました。(村田)

3月25日(水)

時刻	行程
8:30	ニューブランズウィックミドルスクール ・福井市と福井市の中学校に関するプレゼンテーション ・パフォーマンス発表(アニメソングメドレーとヲタ芸)
11:00	図書室にてランチ
12:00	・ドラマクラス ・カフェテリアにて学生と交流 ・数学(折り紙でマスコットキャラクターJIIJII作り) ・2回目のプレゼンテーション&パフォーマンス発表
15:00	ホストファミリー宅へ



プレゼンテーション(1回目)



パフォーマンス(1回目)



観客がいっぱい!



最後のランチ



ドラマクラス



カフェテリアにて交流♪



プレゼンテーション(2回目)



パフォーマンス(2回目)



バディとお別れ

お互いの文化を知ることができました! 現地の友達もでき、自分の世界が広がった!! (大藏)

3月26日(木)

時刻	行程
8:00	ホテル集合
8:50	ホテル出発
11:00	JFK 空港着、搭乗手続き
17:05	JFK 空港発羽田空港へ (NH109 便)
— 日付変更線 —	



ホストファミリーとの別れ



お別れスピーチ



見送り

ホストファミリーが最後まで見送ってくれました。また会える日を楽しみにしています。(北尾)

3月27日(金)

時刻	行程
	機内
20:30	羽田空港着、入国手続き
21:55	バスで蒲田駅へ
22:45	蒲田駅より徒歩で【アパホテル蒲田東】へ
23:00	ホテル着

研修会から帰国後の最後の日までずっと楽しむ事ができました。(吉川)

3月28日(土)

時刻	行程
6:30	ロビー集合、ホテル発
7:00	バスで蒲田駅発羽田空港へ
7:30	羽田空港着、搭乗手続き
9:20	羽田空港発、小松空港行き (JAL185 便)
10:25	小松空港着
10:50	バスで福井駅へ
11:40	福井駅着
11:50	解散



羽田空港にて搭乗待ち



福井駅までバス移動



福井駅にて家族と再会

本当に毎日が楽しくて、この経験は一生の宝物になりました！（清水み）

一歩踏み出したからこそ得られた特別な体験でした。（中島）

4. ジュニア大使 報告書

貴重で濃厚な経験が待っていた

光陽中学校 大藏 里桜

私は、ジュニア大使の経験を通し、コミュニケーションの大切さや日本との違いを肌で感じることができました。また、滞在中に翻訳機を使わずに自分の英語力だけでコミュニケーションをとることにチャレンジしました。

とても濃い一週間の中で、特に印象に残ったことはアメリカの中学生との交流です。

私たちは、市長表敬の日を含め、三日間ミドルスクールで過ごしました。交流していく中で仲良くなれた子もいます。私が聞き取ることができなかった言葉をわかりやすく表現をしてくれたり、プレゼンをする時には、「頑張ってるね」「すごく良かったよ」と、声をかけてくれました。お互いに国や文化が違うけれど、伝えようとする姿勢が伝わるとコミュニケーションをとることができると感じました。

ミドルスクールで私が驚いたことは、日本にはない3Dやドラマ、アートなどの授業があったことです。パントマイムやゲームを交えた授業はとても新鮮でした。

また、ホームステイではアメリカの生活を実際に感じるすることができました。一番楽しかったことは、ホームステイ先の家族と対面した日のドライブです。車のルーフを開け、風を感じながらホストマザーたちと歌ったことは、かけがえのない時間となりました。ホストマザーは私たちの為に、ビーチ・コンサート・ショッピングなど、放課後の予定をたくさん考えていてくれました。どれも大切な思い出です。

私は、アメリカでたくさんの人たちと会話をしていく中で、「もっと英語を話せるようになりたい」という気持ちが強くなりました。ジュニア大使の経験を通し、自分の英語力を知ることができ、文化の違いを感じることができました。学んだことをこれからに活かし、様々なことにチャレンジし続けていきたいです。



私の宝物

高志中学校 北尾 千夏

私はこの派遣で色々なことを経験しました。楽しかったこと、驚いたこと、うれしかったこと、びっくりしたこと。初めての経験もたくさんありました。私はそのなかでも2つのことが特に印象に残っています。

一つ目は訪問したミドルスクールでバレーボールの授業を受けた時です。もちろん、みんなでしたバレーボールもとてもとても楽しかったのですが私は、それ以上に心に残ったことがありました。それは、現地の学生さんが「コンニチワ」とカタコトですが日本語で挨拶をしてくれ、それに「こんにちわ」と返したら、驚くくらい、文字通り飛び跳ねて喜んでくれたことです。私は、挨拶をただだけでこんなに喜んでくれたことがとてもとても嬉しかったのと同じにお互いの文化を知り使ってみる、そんな異文化交流の楽しさを感じました。

二つ目は算数の授業を受けた時です。テーブルに座って皆でお話をしながら jiji というマスコットを折ると言うような授業だったのですが、話しかけた方がいいものを相手の言ってることが分からず何度も聞き返しながら会話をしていました。日本に帰ってアメリカでの出来事を思い出しているとき私はふと気づきました、学生さんが何度聞き返しても返してくれて、私と会話をしようと頑張ってくれていたから私は上手く会話をできなくても何度も挑戦しようと思えたんだということです。学生さん以外にも、店員さんやホストファミリーなどいろんな人がなんとか会話しようとしてくれました。上手く出来ないからと諦めるのではなく、なんとかしようとして試行錯誤することが大切なんだと思いました。

私はこの派遣で様々な貴重な経験をえました。そのどれもが私にとって忘れられない人生の大切な宝物になりました。それはこの派遣で新たに気づいたことだったり、思い直したことだったり、楽しく過ごした記憶だったりしますが、私には特にこれを大切にこれから生きていきたいと思うことがあります。一步踏み出す勇気と楽しさを見つける心です。一步踏み出さなければホストファミリーに出会うことも忘れられない宝物を得ることも異文化交流の楽しさも知ることはありませんでした。大きく踏み出すことが怖ければ少し、ほんの少しだけでも踏み出す勇気、苦手なことや大変なことのなかでも楽しさを見つけることの2つを私はこれからの人生で大切にしていきたいです。

私はこの派遣を通して得た宝物や一步踏み出す勇気と楽しさを見つける心を大切に、これから、ふるさと福井と世界の人を繋ぐ手助けができる人になりたいです。
改めて、貴重な機会を頂きありがとうございました。そして、今回の派遣に関わった全ての方に幸せな未来が訪れることを願っています。



私の知らなかった世界と出会って

足羽第一中学校 清水 みそら

初めて降り立ったアメリカの地。そこには、何もかも知らない世界が広がっていました。街の雰囲気や人々の接し方、学校での過ごし方など、日本とは異なる点が多くあり、毎日が新しい発見の連続でした。私は、この経験を通して、自分の国際的な視野や、人生の可能性が大きく広がったと感じています。

私がアメリカに行けて特に良かったと思うことは、2つあります。1つ目は、自分が思い描いていたアメリカのイメージとの違いを知ることができた点です。私は、アメリカ人は全員フレンドリーで明るい人たちだと思っていましたが、中には控えめな人もいたことを知りました。しかし、どの人も優しく気遣ってくださり、親しく話しかけてくれました。

また、口に合わないものを食べたときも、私の表情を感じ取って、別の食べ物を用意してくれました。こうした経験から、アメリカの人々のフレンドリーさは、相手の様子をよく見て、気持ちをくみ取ることから生まれているのだと感じました。大変なことも多かったアメリカでの1週間、私はこの優しさに何度も支えられました。

2つ目は、新たな出会いがたくさんあった点です。一緒にアメリカに行った仲間や、ミドルスクールでできた友達、ホストファミリーなど、多くの人との出会いがありました。ミドルスクールでは、現地の生徒が日本から来た私たちに積極的に話しかけてくれ、言葉や文化の違いを超えて交流することができました。また、一緒に授業を受けたり、合間の時間に遊んだりする中で、日本の学校との違いを感じることもできました。私は、言葉が完璧でなくても伝えようとする気持ちで、つながることができるのだと実感しました。ホストファミリーには、ビーチやコンサート、ショッピングなど、様々な場所に連れて行ってもらいました。また、ホストファミリーみんなで食べたご飯や一緒に過ごした時間は、かけがえのない思い出です。

この事業に参加するにあたり、背中を押し、応援してくれた家族や友達、先生方、本当にありがとうございました。そして、この事業に関わってくださったすべての方々に感謝しています。この経験を多くの人に伝え、必ず自分の人生に活かしていきます。そして、もう一度アメリカの地に、成長した姿で戻れるように頑張ります。



ニューブランズウィック市での1週間

福井大学教育学部附属義務教育学校 清水 雄介

NB市で過ごした5日間は、夢のようだった。海外に行くのは初めてだったから、目にする全てが新鮮だった。目まぐるしいほど毎日新しいことに出会い、その度に心を動かされた。何より、たくさんの素敵な人達に出会って、一緒に素晴らしい時間を過ごすことができた。ここでは、僕が特に大切にしたい思い出を2つ紹介する。

1つ目は、ミドルスクールのみんなと過ごした時間だ。登校初日、最初の活動は、ペアの子との自己紹介だった。僕のペアは、アニーという女の子だった。僕は緊張していたけれど、思い切って「Do you know 呪術廻戦？」と聞いてみると、なんと彼女も大ファンだったようで、僕たちはすぐに意気投合することができた。彼女は何冊も漫画を持っていると話していて、僕は日本の漫画・アニメの文化が世界で愛されていることを実感し、嬉しく思った。アニーだけでなく、学校中のみんなが僕に親しく接してくれた。「You're funny!」などと、気さくに声をかけてくれるみんなのおかげで、僕の緊張は吹き飛んだ。アメリカの中学生達が自分を受け入れてくれるのか、直前まで不安だった僕だが、今思い返してみても、あの時勇気を出してみんなに話しかけて、本当に良かったと思っている。

2つ目は、ホストファミリーとの生活だ。ホストブラザーとサッカーをした事、3歳のホストシスターと粘土遊びをした事、抹茶を振る舞って喜んでもらった事、どれも最高に楽しかった。ホストファザーと一緒にアジアマーケットへ行き、長ネギを探して歩き回ったのもいい思い出だ。その材料で作った味噌汁はいつもより数倍美味しかった。また、スペイン語を話すホストマザーとは、日本語とスペイン語をお互いに教え合い、仲良くなった。ホームステイの前は、どんな人達だろうとか、うまく会話できるだろうかと心配していたが、全く問題なかった。僕は日本や福井のことを伝えるだけでなく、アメリカの文化やホストファミリーのことを知りたいと強く思っていた。きっと向こうも同じ気持ちを持って接してくれたから、僕は心の底から楽しめたのだと思う。僕は、異文化間で互いに教え合い、学び合うことの素晴らしさを経験することができた。

この数日間の経験は、僕にとって宝物だ。今僕は、もっといろんな場所へ行ってみたい、いろんな人と出会ってみたい、とワクワクしている。本当に本当に、最高の1週間だった。



言葉をこえて広がったつながり

福井大学教育学部附属義務教育学校 中島 愛衣

私は現地の学校や家庭での交流を通して、文化や価値観の違いについて学ぶことができました。また、たくさんの貴重な経験をすることができました。その中でも私が特に心に残ったことを紹介します。

ホームステイでは、最初はとても緊張していましたが、ホストファミリーが、「ここが自分の家だと思って楽に過ごしていいからね」と言ってくれて、緊張がほぐれました。ビーチやショッピングなど、毎日いろいろな場所に連れて行ってもらい、日本ではできない貴重な経験をたくさんすることができました。会話の中で私が聞き取れない英語があったときは、ゆっくり話してくれて、理解できた時には喜んでくれてとてもうれしかったです。もっと勉強して英語ができるようになりたいと思いました。素敵なホストファミリーに出会えて良かったです。

学校での交流では、最初は緊張していてなかなか自分から積極的にたくさん話しかけることはできませんでした。そんな時、現地の学校の友達は私たちや福井のことに興味をもって来て、初めて会ったとは思えないほど明るく話しかけてくれました。次の日からは話すことが楽しくなり、時間を忘れて熱中するほどでした。学校には「cafeteria」という学年関係なくみんなで昼食をとる広い場所があります。カフェテリアでは違う学年の子たちと交流することができ、友達の輪がさらに広がりました。日本では自教室があり、教室で昼食をとり授業も受けるため、アメリカとはスタイルが違います。このような文化の違いを感じ、日本の学校にも交流する場所が増えるといいと思いました。

私は今回のジュニア大使の経験を通して、英語でのコミュニケーションに挑戦したり、日本の文化を紹介したりする中で、自分の考えを伝えることの大切さや相手を理解しようという姿勢の重要性を学びました。授業の進め方や友達同士のコミュニケーションの仕方など、見るものすべて毎日が発見の連続でした。

今回学んだことをこれからの学校生活や将来の目標に生かしていきたいと思います。この経験を自信にして、もっと成長していけるように頑張ります。



日本とアメリカはこんなにもちがう

清水中学校 永野 恵珠里

私は約1週間アメリカのニューブランズウィック市を訪問させていただきました。そこは、景色や雰囲気、文化が日本と違って、とても驚いたことを鮮明におぼえています。その中でも特に、学校の違いにとっても驚かされました。大きな違いから小さな違いまでさまざまあり、驚きの連続でした。特に印象に残っている学校の違いを3つ紹介します。

まず1つ目は、教室に全員分の席が用意されていないことです。アメリカの学校では自分が受ける授業によって、教室を移動して受けるそうです。私たちも授業を受けさせていただいた日がありました。その教室は、席がとても少なく、私も立って授業を受けました。その日の授業は、ノートをとるような授業ではなかったので受けることができましたが、机もなくどうノートをとるのか疑問に思いました。

2つ目は、カフェテリアで朝食ももらえることです。アメリカの学校にはカフェテリアがあり、そこで昼食をとるのは知っていましたが、朝食ももらえるを知って、とても驚きました。日本の学校のように、自分たちで準備して、配ぜんして食べるのではなく、カウンターのような場所に行って、キッチンの中にいる方がすべて取って渡してくれる制度で、そのこの日本との違いにも驚きました。

3つ目は、避難訓練です。2日間の滞在中に、火事と、ロックダウンの2つを行いました。特別におどろいたのは火事の訓練でした。アメリカの学校の訓練は、事前に「今からするよ」と言われて始まりました。この時点で私は、日本の訓練との違いに衝撃を受けました。訓練が始まると、真剣そうな雰囲気の1つもなく、しゃべりながらゆっくり外に出ていく様子にとってもびっくりしました。学校から少しはなれた場所まで避難しているときも、みんなしゃべっていたりして、日本の防災意識が高い理由が分かった気がしました。

ジュニア大使の経験は、私の世界を広げてくれるとても良い機会となりました。地元福井への愛と、この地に生まれたことの誇りも大きくなり、より一層福井のことが大好きになりました。これからも、このような交流が行われ、世界平和への第一歩となることを願っています。



僕の成長

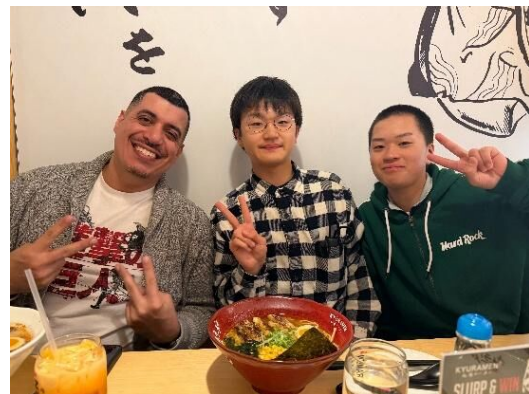
足羽中学校 前田 優空

ジュニア大使としての活動を通して、私はたくさんのことを学びました。まず一番大きかったのは、コミュニケーションの大切さです。海外の人と交流する中で、言葉がうまく通じないこともありましたが、ジェスチャーや表情、簡単な英語を使うことで、気持ちは伝えられると分かりました。完璧な英語でなくても、相手に伝えようとする姿勢が大事だと実感しました。

また、文化の違いについても深く学びました。日本では当たり前だと思っていたことが、海外では全く違う意味を持つこともあり、とても驚きました。例えば、食事のマナーやあいさつの仕方など、国によって様々でした。この経験から、自分の考えだけでなく、相手の文化や価値観を尊重することの大切さを学びました。

さらに、自分から積極的に行動する力も身につきました。最初は緊張してなかなか話しかけられませんでした。自分から声をかけることで新しい友達ができ、交流がどんどん広がりました。この経験から、待っているだけではなく、自分から動くことの大切さを知りました。

ジュニア大使の経験を通して、私は視野が広がり、自分の成長を感じることができました。これからはこの経験を生かして、もっと多くの人と関わり、世界について理解を深めていきたいです。そして、日本の良さも積極的に発信していきたいと思います。



初めての経験

明倫中学校 向山 陽菜

私はこのジュニア大使派遣を通して初めてのことをたくさん経験しました。初めての海外、初めての景色、初めて食べるごはん、初めての英語で話す友達。私はこの初めてのことを通して自分自身を見つめ直す良いきっかけになりました。中でも、印象に残った出来事を話します。

それは、ミドルスクールの訪問です。私たちは2日間でいろんな授業に参加させていただきました。中でも、数学の時間にした24ゲームが印象に残っています。世界共通の数学を異なる言語で伝えて4人で話しながら、理解して行く過程が新鮮でした。ゲームを通して話すうちにお互いのことも知ることができて、私自身も伝える力を身につけることができました。他にも、ランチの時間には好きなものは？とかお互いのことを知るために翻訳機も使いながら話すことができました。

これらのことを通して私自身の考え方が変わりました。自分から積極的に話しかければよいとずっと考えていたけれど、自分から話しかけるだけでなく相手の話を聞いて反応をすること、お互いを深く知ろうとする気持ちを大切にしていかなければいけないんだと思いました。そして、言語という大きくて見えない壁は気にしすぎても話しかけることができなくなるし、気にしなかったらお互いのことを深く知れないと感じました。なので、知識と気持ちどちらも持つことが一番大切だと思いました。今回の経験を活かして、これからも語学の勉強や知識を身につけ、また海外に行きたいと思います。



新しい交流の道をひらく

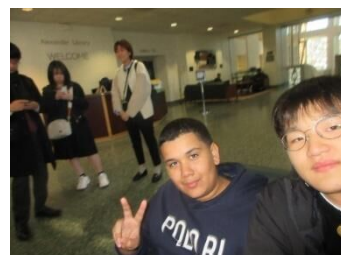
福井大学教育学部附属義務教育学校 村田 彰大

今回の福井市ジュニア大使としての、ニューブランズウィック市への訪問では、とても大きな経験と学びを得ることができました。また、この派遣で一番印象に残っているのはホームステイです。初めての海外渡航で、何も分からない私に優しく丁寧にいろいろなことを教えて下さったことは、特に記憶に残っています。また日下部太郎のお墓の参拝や市長表敬では、ニューブランズウィック市と福井市との永い歴史とその交流の深さ、つながりの多様性を感じることができました。

楽しかったことでは、ニューヨーク市内での観光と、ミドルスクールの生徒との交流です。ニューヨークでは自由の女神像や MoMA など、福井では見られないようないろいろな美術に出会うことができ、自分の芸術観を広げることができました。なかでも、MoMA に黒川紀章の中銀カプセルタワーの1室が展示されていたことは、とても感動しました。またタイムズスクエアでは、人種のるつぼと言われるように、多種多様な人種の人々が多く通りを行き交う様子は、まさに大都会ニューヨークや、多民族国家アメリカの実像に肌で触れることができ、日本との大きな違いに驚愕するとともに、自身の見識の狭さのようなものを感じました。ミドルスクールの生徒との交流では、海を越えたつながりを感じました。ペアになった生徒とともに製作したキーチェーン、また全員でした演劇のレッスンやバレーボールでの、なにげない会話やゲームの時間など、これらの出来事は、このジュニア大使でしか経験できないことであると思いました。このようなつながりは学校だけでなく、ニューブランズウィック市のリーダーやホストファミリーと過ごす時間でも感じました。

困ったこととしては、やはり英語の能力が足りていないことで、コミュニケーションがうまくいかなかったことがあり、もっと英語を勉強しなくてはいけないと思いました。しかし、そのような時でもニューブランズウィック市の人々は温かく気遣ってくださり、国は異なっても同じ人間としてのやさしさや人情のようなものを感じました。

このように今回の派遣では、人と人とのつながりを強く感じ、そのつながりをこれからも大切にして、続けていかななくてはいけないと思いました。人と人がつながることで、新しい道がひらき、その道を共に進むことで、より良い国際関係を築くことができると信じています。これからもいろいろなことに挑戦し、自分の視野を広げ自身の成長につなげていきたいです。



異国で過ごした七日間

藤島中学校 吉川 聖勇

僕にとって初めての海外。見る物や食べるもの、感じることの全てが新しく、とても新鮮でした。話し好きの僕は、外国の方と話すことが出来るということに気分が高揚していました。ここでの経験の数々からはたくさんの学びがありました。特に印象に残っていることを紹介します。

1つ目はMoMA近代美術館です。今までにも有名な作品のレプリカを見たことはありましたが、初めて本物を見ることができました。その作品の数々からは、本物だからこそその美しさや、作者が作品に込めた思いが伝わってきました。僕は音楽が大好きです。だから音楽を通して僕の伝えたい感情が聴く人に届くように、ピアノを演奏したいです。

MoMAの作品の鑑賞後、ミュージアムショップへ行き、ニューヨークヤンキースのコラボの帽子を買いました。価格の高さにおどろいた反面、今、アメリカにいるのだということを改めて感じました。

2つ目はミドルスクールでの活動です。生徒も先生もみんなフレンドリーで、優しく接してくれました。日本では、失礼のないようにおとなしく静かに振る舞うものですが、アメリカはにぎやかに振る舞い会話を楽しむということに驚きました。日本とアメリカの文化の違いを感じました。そしてよりアメリカが大好きになりました。プレゼンとパフォーマンスでは、大きな歓声や拍手をもらえてうれしかったです。日本では、一般に演目が終わったら拍手をしますが、アメリカでは叫ぶ人が多く、ここでも文化の違いを感じました。授業は日本と似ていました。

3つ目はホームステイです。「ちゃんと会話できるかな。」家やホテルではない、“外国の家”に泊まることに少し不安を抱いていました。ですが、ホストファミリーが優しく、快く僕たちを受け入れてくださり、気がつくとも不安はなくなっていました。日本からのお土産も渡すとすぐに食べてくれ、「これはどんなお菓子なの?」「日本ではよく食べられているの?」とたくさん質問してくれました。「おいしい」一口食べるとすぐにこう言ってくれて、和やかな時間を過ごすことができました。

ジュニア大使の経験を通して「他人に温かくすると場の雰囲気や和やかになり、自分の心も温かくなる」ということを学びました。だから、これから僕はどんな人とも積極的にコミュニケーションをとりたいと思います。たくさんの貴重な経験をいただきありがとうございました。この経験を一生忘れず、福井の社会に貢献したいです。

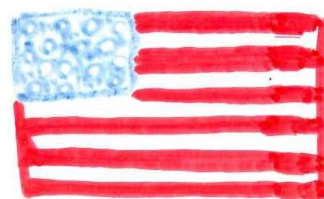


5. 未来のジュニア大使へメッセージ

積極的にコミュニケーションすれば、心で通じ合える。
Fighting!! 前田優空

ホストファミリーは

一生の友達になります!



自分のことたくさん話して仲良くなろう
清水 Yusuke

みんな心から歓迎してくれるから、

思い切って飛び込んでみよう!

聖勇(そぼん)

一緒に行ったメンバーを大切にしてください
あとは楽しみなこと全やで楽しんで〜
明倫

海外には、思いもしないような世界が、
広がっています。その世界を自分の目で見て、
体験して楽しんでみてください!! 清水みづら
向山

緊張してもこの言葉を思い
出して!

"You can do it!"

ちな+y

不安もたくさんあると思うけど、
絶対に良い思い出になるから
楽しんできて! がんばってね

中島 愛衣

ここでしかできない経験がたくさんある!
楽しむことを忘れずに!! 英語にもたくさん
チャレンジしてね! 応援してる. 大蔵 里桜

挑戦してください

村田 彩大

英語の勉強頑張ってください.

せっせと積極的にコミュニケーション!!

恵珠里

公益社団法人 ふくい市民国際交流協会

福井市田原 1 丁目 13-6 フェニックス・プラザ 3F